

鳥取西道路  
鹿野一青谷  
浜村

# 19年夏までに開通

## 地滑り対策、トンネル案了承

山陰道鳥取西道路の鳥取市鹿野町の建設現場で地滑りの可能性が判明し開通を延期した問題で、国土交通省は22日、同市内で技術検討委員会を開いた。地

滑りが判明した斜面周辺を土砂で埋め戻し、トンネルを掘る対策案を了承。同省は浜村鹿野温泉インターチェンジ(IC)―青谷IC間の開通時期は大幅にずれ込



む。隣接する鳥取西IC―浜村鹿野温泉IC(12・8キ)は予定通り18年後半に開通するが、鳥取西道路の全線開通時期は延びることになる。同省鳥取河川国道事務所は「できるだけ工期を短縮し開通を前倒したいが、18年中に同時開通させるのは困難」としている。抜本対策は、のり面上部の土砂撤去など4案あったが、施工時や開通後の安全確保が他案より有効との理由から、トンネル案で決着した。山を削って道路用地にした区間を10万立方メートルの土砂で埋め戻し、長さ120メートルのトンネルを掘る。

区間によって開通時期が異なることで、周辺既存道路への交通量増加などが懸念される。同事務所の姫村幸造副所長は「周辺の安全対策も含めしっかりと検討したい。不便と迷惑を掛けるが理解いただきたい」としている。

(北尾雄一)